

優秀経営者顕彰

船木氏ら表彰

元旦ビュー
ティ工業会長

最優秀経営者賞を受
賞した元旦ビュー
ティ工業の船木会長



日刊工業新聞社は17日、東京・大手町の経団連会館で「第39回優秀経営者顕彰」の贈賞式を開き、最優秀経営者賞を受賞した元旦ビューティ工業（神奈川県藤沢市）の船木元旦会長ら35人を表彰した。贈賞式には来賓である中小企業庁の角野然生長官ら約90人が出席した。（3面に関連記事）

同顕彰は優れた経営手腕で社会や地域経済に大きく貢献した中堅・中小企業をたたえる制度。元旦ビューティ工業は船木会長が23歳で創業し、金属製屋根で新市場を創出するなど数多くの工業所有権を持つ。付加価値を追求し、施工実績も国内外で多岐にわたる。顧客と業界の課題解決を収益につなげる好循環の経営手腕が高く評価された。

船木会長は「特許庁や金融機関、顧客が1回聞いたなら忘れない『元旦』という名前に支えられてきた」と、特許増と工場新設への融資などが成長につながったと指摘。今後、「受賞を励みに、事業に真剣に取り組んでいく」と謝辞を述べた。

優秀経営者顕彰

甲乙付けがたい立派な経営者



中小企業も大学と連携を。日刊工業新聞社が17日、東京・大手町の経団連会館で開いた「第39回優秀経営者顕彰」写真の贈賞式で、選考委員長の坂根正弘コマツ顧問は「皆さんは狭き門を突

破して受賞した、甲乙付けがたい立派な経営者」とたたえた。（1面参照）

第34回から務めた選考委員長を今回で退任する坂根顧問は、ライフワークである地方創生に触れ、「（地方大学も）総花的、平均値の教育になっている。みなさんも地方の大学と一緒に頑張ってほしい」と話した。

また、「就任当初は応募企業も全国ではなかったが、今は全国から来ている」と振り返り、本顕彰制度について「地方創生の活動を促進する視点で発展させてほしい」とした。

来賓としてあいさつした経済産業省・中小企業

最優秀経営者賞を受賞した元旦ビューティ工業（神奈川県藤沢市）の船木元旦会長は若くして起業した自分の人生をユーモラスに説明。特許出願数の多さについて「（出願すると）すぐまねされる。ずっと闘いつばなしてきた」と自らの経営を振り返った。

無断転載・複写禁止 © 日刊工業新聞社